

a 学校教育目標	夢の実現に向け、挑戦・伸び続ける尾立っ子の育成 ・挑戦する勇気と、続ける強い意志をもつ子ども ・自分でよく考え、自分から表現する子ども ・気持ちのよいあいさつ、元気な返事をする子ども	b 経営理念 ミッション・ビジョン	[ミッション](学校の使命) ・目標に向かって一生懸命取り組み、やり切ろうと努力することを大切にする学校文化を創造する。 ・自信をもって表現でき、仲間と共に伸びていく児童を育成する。 ・「できる」「わかる」喜び・達成感をたっぷり味わわせる教育活動を行う。 ・人が「楽しく」「元気」になる学校を創っていく。 [ビジョン](将来の学校像) ・楽しく・元気で活力のある学校 ・常に変革と改善に努め、質の高い教育を提供していく学校。 ・児童・保護者・地域の期待と信頼に応えられる、開かれた学校。 中学校区共通理念: 学習・生活の基礎・基本を確実に身に付けさせ、よりよく生きることをめざす児童・生徒の育成。
----------	--	----------------------	---

C 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の課題	・ 三点固定を継続し、学習習慣を定着させ、基礎・基本を身に付け、活用できる能力を育成していく。 ・ 全教職員が同じ方向性で指導していく体制ができつつある。今年度も、常に話し合いながら共通理解を図っていく。 ・ 一人一人の良さを生かし、認め合える豊かな体験の場を増やすために、縦割り・全校活動を充実させる。 ・ 倉橋東中学校区小中一貫教育の更なる推進を図り、学習・生活の両面で自立した児童の育成をめざす。
------------------------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1 (2)・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	7月(1学期末)			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★ ★ ★	学習習慣を定着させ、基礎・基本を身に付け、活用できる能力を育成していく。	○教職員の授業力・指導力の向上を図る。 ○学習規律の定着を徹底し、家庭学習を習慣づける。 ○読書活動を充実させる。 ○表現力・思考力・集中力を育成する。	○読書タイムを週3回実施し、家庭学習に読書を取り入れる。	○低学年100冊、中学年7000ページ、高学年10000ページ	85%	28	33	D			
			○自分の考えや意見をきちんと表現させる。	○低・中・高学年に応じた話型モデルを達成した児童の学期末の割合(児童アンケート)(教師の見取り)	90%	84	93	B			
			○毎日、家庭学習の時間(低学年30分、中学年45分、高学年60分以上)となるよう課題を課し、課題の提出と点検を徹底することでやりきらせる。	○学期末に行う児童による自己評価(4段階A+Bの肯定的評価)を90%以上にする。	100%	43	43	D			
			○「学びタイム」「放課後自主学习」を有効活用する。	○期末テスト(漢字のまとめ、算数のまとめ)の正答率を85%以上にする。	90%	57	63	C			
			○百人一首の取組を継続・充実させる。	○一人年間百首覚える。	80%	86	107	A			
★ ★ ★	自己肯定感を高め、規範意識・社会性のある児童を育成していく。	○倉橋東中学校区「5つの約束」の定着を徹底する。 ・進んであいさつ ・きちんと返事 ・時間を守る ・正しい言葉づかい ・整理整頓 ○道徳的実践力を育成する。 ○自己肯定感を高める。	○時と場に応じた声の大きさで、あいさつや返事がきちんとできるように徹底する。	○「あいさつ」と「返事」の生活目標の達成率を90%以上(3学級とも黄色シール)にする。 ○学期末に行う「生活振り返り」の該当項目において、4段階A+Bの肯定的評価を90%以上にする。	100%	100	100	A			
			○道徳の授業力を向上させる。	○道徳の研究授業(模擬授業も含む)を年2回以上行う。	100%	33	33	D			
			○お互いを認め合い、温かい雰囲気の中を創っていく。	○学期末に行う児童アンケートの「学校は楽しいですか」の項目において、4段階A+Bの肯定的評価を100%にする。	100%	82	82	B			
★	望ましい生活習慣の定着と、健康と体について自ら考え、改善していく行動力を育成していく。	○基本的な生活習慣の定着と食育を推進する。	○生活振り返りカードを活用しながら、担任と養護教諭が連携し、教育相談を進めていく。	○生徒指導連絡会は毎週1回実施。教育相談は学期に1回実施。	100%	100	100	A			
			○児童が常に目標に向かって活動できるように業間体育の年間計画を立て、進めていく。	○業間体育で行う鉄棒・持久走・縄跳び等で、自己目標を超える児童の割合。	90%	29	32	D			
			○望ましい食生活が身に付くように、計画的に進める。	○遠足や運動会などで、学年の発達段階に応じた自作弁当づくりに取り組んだ達成児童の割合。	90%	100	111	A			
★	小中一貫教育の推進と、地域・保護者と一体感のある開かれた学校をつくる。	○積極的に情報を発信し、学校応援団を増やす。	○学校通信・保健だよりを発行し、学校の様子・実態を知らせる。	○月1回以上発行する。	100%	100	100	A			
			○OHPの更新を行う。	○月2回以上発行する。	100%	88	88	B			
			○参観日等の参加率を高める。	○学校通信などで、事前に参加・懇談の内容を知らせ、参加意欲を高める。(参加率)	90%	64	72	C			
			○乗り入れ授業の回数増や内容の充実に取り組む。	○年間計画を立て実施する。(年2回)	100%	0	0	D			
				○授業後児童アンケートを行い、肯定的評価を85%以上にする。	85%	0	0	D			